

修了考査問題（例示）

【注意事項】

1. 修了考査の時間は、1時間です。
2. 問題は、表裏合わせて全30問あります。
3. 講習テキストの閲覧は、可とします。
4. 解答にあたり、適用すべき法令等は、**令和6年4月1日現在において施行**されているものとします。

問題番号	問 題
1	建築士法においては、管理建築士のみに建築士の職責として、業務に関する法令に精通することが求められている。
2	建築士は、設計等の委託者あるいは委託しようとする者から請求があった場合は、建築士免許証等を提示しなければならない。
3	定期講習の受講履歴は、建築士名簿に記載されるが、閲覧の対象となっていない。
4	管理建築士が総括する技術的事項として、建築士事務所に属する建築士その他の技術者の監督及びその業務遂行の適正の確保は含まれない。
5	建築士事務所に掲げなければならない標識の記載事項には、「事務所登録の有効期間」は含まれない。
6	設計受託契約に当たっての、重要事項説明時に交付する書面に記載する事項の一つに、従事する建築士氏名と資格種別がある。
7	構造計算適合性判定の対象となる建築物の計画は、許容応力度等計算、保有水平耐力計算、限界耐力計算等の構造計算を行ったものまたは大臣認定プログラムを用いて許容応力度計算を行ったものである。
8	中間検査、完了検査においては、確認申請図書と工事の状況の一致の照合が行われることはない。
9	住宅の品質確保の促進等に関する法律により、新築住宅の取得契約に係る基本構造部分の瑕疵担保責任期間は、引渡しから原則として30年間とされている。
10	特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律において、住宅の供給者に対し、瑕疵担保責任を果たすための費用の供託または保険に加入することが義務付けられている。

問題番号	問 題
11	設計及び工事監理等の建築士事務所の業務の品質に対する期待とニーズは、安全性、経済性、地域環境への配慮、地球環境への負荷低減、など広範に及ぶ。
12	事務所体制の整備、維持運営の基本方針の中で配慮されていなければならない事項には、品質確保に対する取組み姿勢のほか、「消費者重視の視点」、「法令遵守」、「守秘義務」、「環境に対する配慮」などがある。
13	建築士は、設計行為の過程で、消費者保護、顧客満足向上を図っていく努力をしなければならない。
14	設計業務を遂行する上で、その業務遂行のために行う打合せやコミュニケーションの過程で知り得る委託者に関する情報は、個人情報については秘匿し、保護する必要があるが、企業情報は必ずしも配慮する必要はない。
15	一般的に建築士に求められる能力の一つに、業務に関連する法令に関する知識がある。
16	建築士事務所の教育訓練とは、所員自らが発意するものであり、管理建築士が関与するものではない。
17	外注委託先事務所との提携については、一度決定された基本契約は、いかなる場合であっても変更すべきではない。
18	直接外注費とは、プロジェクト業務の一部再委託費や印刷製本費、複写費などである。
19	法律で取得する権利が保障されている休暇には「年次有給休暇」、「生理休暇」、「産前産後休暇」、「育児休暇」、「介護休暇」がある。
20	開設者が法人の建築士事務所の場合は、所員が5人未満であれば社会保険に加入する義務はない。
21	いわゆるビル衛生管理法では、3,000㎡を超える特定建築物については、「浮遊粉塵」、「一酸化炭素」、「二酸化炭素」、「温度」、「相対湿度」、「気流」等の室内環境の管理基準(最低限の基準)を定めている。
22	建築物の設計及び工事監理の一連の業務進捗のなかで、管理建築士が行う管理は「属する建築士や技術者の監督」と「その業務遂行の適正の確保」である。
23	業務の受託において、契約はリスク回避のためにやむを得ず行う事務的な業務ではなく、プロジェクトの方向性を定める創造的な活動と考えることが望ましい。
24	設計業務に伴い委託者との間で問題となる法的責任としては、契約上の責任と不法行為責任とに大別される。
25	委託者と建築士事務所との間の紛争において、損害賠償請求や不法行為責任が10年を超えて求められることはない。
26	設計変更の例として、施工者事由により設計に大幅な変更が生じた場合は、委託者が承認すれば建築士事務所の管理責任がある者の判断は必要はない。
27	建築士事務所における工事監理業務の「手順・ルール」で考慮しなければならない要素の一つに、施工管理状況の確認及び工事確認がある。
28	指定住宅紛争処理機関における紛争の対象は、全ての住宅である。
29	建築無料相談員の建築士が、不適切な説明を行った場合に、損害賠償請求をされることはない。
30	建築士事務所の賠償責任能力を推し量るときには、実質的には、賠償責任保険への加入、未加入を問うことになる。